

事業所名

発達応援スペース遊園

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念		～子どもの今と未来を豊かに～ 子ども時代の体験や心の持ち方は、人生の礎となります。私たちは、やさしさと頑張る気持ちを伝えることで、子どもたちの今と未来を豊かにしたいと考えます。社会に根差した、たくましい子に育てます。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・大切な子どもの時期をあたたく見守り、のびのび育てる ・先生、友だち、自然や伝統行事との豊かなふれあいを持つ ・子どもたちがありのままの姿を出せる環境づくりを大切にする 							
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	日常生活や社会生活を円滑に営めるように、それぞれの子どもの適した身体的、精神的、社会的訓練を心理士や言語聴覚士、作業療法士などの専門職が専門的な視点から発達支援を行う。また、子どもの障がい特性に配慮し、子どもにとって分かりやすく時間や空間を構造化することで安心できる環境を整える。							
	運動・感覚	子どもが保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように遊び等を通して支援する。また、作業療法士が中心となって支援員同士で子どもの身体の使い方や補助の仕方など支援に関するアイデアを共有しつつ実践に当たる。子どもの感覚の特性への配慮もしつつ、環境調整等の支援も行う。 <感覚統合療法>							
	認知・行動	子どもの認知の特性を踏まえて、入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生ずる困りごとを予防し、適切な行動へ転換できるように支援する。							
	言語コミュニケーション	話し言葉や指差し、身振りなど各サインを用いて、自分の考えを伝えたり、相手の意図や考えを理解する支援を行う。また、子どもの障がい特性に応じた読み書き支援を行う。その際、各種の文字・記号、絵カードやICT機器などを適切に選択しコミュニケーションを図ることができるように支援する。 <構音訓練>							
	人間関係社会性	身近な人との信頼関係を築き、遊びや活動の幅を広げていけるように支援する。周囲や相手の状況を把握し、自分自身のできることやできないことを理解し気持ちのコントロールができるように支援する。 <心理セラピー>							
家族支援		子どもの障がい特性に配慮し、安定して子どもが日常生活を送れるように適切に助言をしたり、アタッチメント形成が行えるようにしていく。			移行支援		地域での活動ができるように保育所・学校等と情報共有や支援方針の確認を図り支援を行っていく。円滑に地域への活動に移行できるように進めていく。		
地域支援・地域連携		保育所・学校等子育て支援機関との連携をし、医療機関、地域行政機関との連携を深めるなど子どもが地域全体で適切な支援を受けられるようにしていく。			職員の質の向上		支援に関する定期的な専門的研修やOJT研修を進めて支援の質を担保していく。また、定期的なケースカンファレンスを実施して職員のスーパーヴァイジー機会も保証していく。		
主な行事等		育児相談、避難訓練等							